

有限会社 金子ファーム

地域資源：農林水産物、牧場、南部曲屋育成厩舎
事業分野：畜産、加工・販売、観光・旅行
事業主体：農林漁業者、地元協議会

- 循環型畜産、観光牧場、6次産業化の実践により、経営規模の拡大と就労環境の向上を実現し、持続可能な農業を展開。
- 南部の馬文化と地域とのつながりを大切にしながら、七戸町の滞在・周遊型観光の拠点として地域振興を推進。

基本情報

- 所在地：青森県七戸町
- 選定表彰：
 - ・全国肉用牛枝肉共励会(第二部)名誉賞 (R3)
 - ・第60回全国農業コンクール 農林水産大臣賞受賞 (H23)
 - ・全国優良畜産経営管理技術発表会 農林水産大臣賞受賞 (H21)
- 主力商品・イベント：
 - ・肉牛
 - ・ふれあい牧場（ジェラート、レストラン等）
- 活用した支援施策：
 - ・6次産業化推進整備事業 (H23)
 - ・農山漁村振興交付金(農泊推進対策) (R1)

取組の概要

- 循環型畜産（牛糞堆肥を肥料に飼料作物を生産等）を実践し、地域の同業者及び農業者とも連携しつつ、オリジナルブランド牛を含む1.5万頭を肥育。
- 豊かな社会生活に向け、自然や動物に触れ合える牧場を解放し、手作りのジェラート店、自社牛肉のレストランを整備、地域の歴史的建物である南部曲屋育成厩舎を改修。
- 七戸町「南部の馬文化」活用協議会と連携し、自社所有のふれあい牧場を滞在・周遊型観光及びインバウンド対応の観光交流の中核拠点として地域振興を推進。



牧場レストランNARABI
黒毛和牛ステーキ

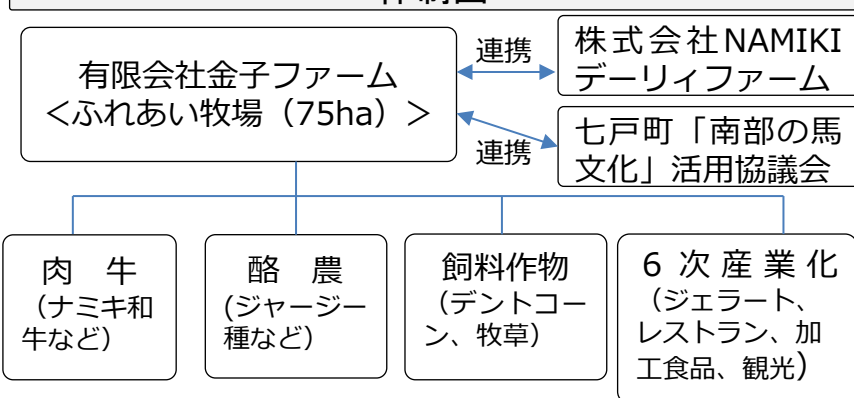


手作りのジェラート
(ジャージー牛のミルク使用)



七戸の馬文化の記憶を伝える
南部曲屋育成厩舎（登録有形文化財）

体制図



取組の成果

- 6次産業化の売上高：2億円 (R3)
- 雇用機会の創出：30人 (R3)
- ふれあい牧場への来場者数：約20万人 (R3)

ウェブサイト▶<https://www.kaneko-farm.jp/>

なかどまりまち 中泊町農産物加工販売施設 出荷者協議会

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、福祉、医療、イベント
事業主体：直売所、医療・保険団体

- 生産者の所得向上を目的として設立された協議会が、生産者への集出荷に関する支援や技術指導、消費者視点での直売所の改善提案により、直売所の来客数と売上の向上を実現。また、移動販売を通じた高齢者への買い物支援や見守りも実施。

基本情報

- 所在地：青森県中泊町
- 選定表彰：
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
 - ・農林水産祭（むらづくり部門）内閣総理大臣賞（R6）
- 主力商品・イベント：
 - ・地元農産物
 - ・直売所イベント
- 活用した支援施策：
 - ・（なし）

取組の概要

- 生産者の販売先の確保と所得向上のために協議会を設立。主要販売拠点である直売所の魅力向上に向け、指定管理者（地元企業）に消費者視点での運営改善を提案。
- 運転免許を返納した高齢の生産者（出荷者）への支援として、集荷拠点の設置やコミュニティバス活用による出荷体制の整備で直売所の「品揃えを充実」させたほか、生産者への技術指導や出荷ガイドブックによる「商品の品質向上」、「季節ごとのイベント開催」により、直売所の来客数と売上の向上を実現。
- 医療・保険団体による住民向けの保健相談や健康測定のをイベントで提供するほか、直売所による生鮮食品や日用品の移動販売を通じ、高齢者への買い物支援や見守りを実施。



出荷先の直売所「ピュア」

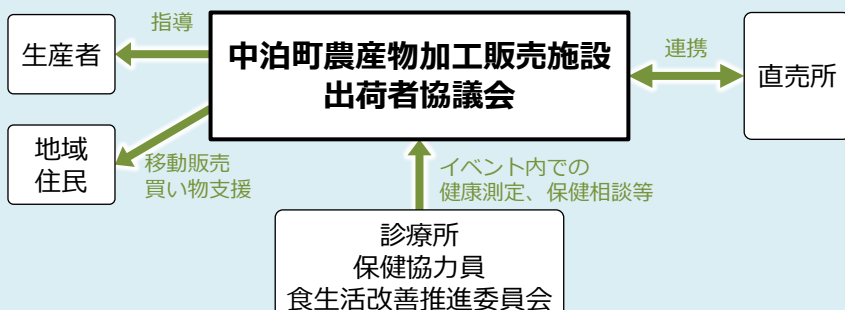


コミュニティバスを活用した出荷



直売所で開催のイベント模様

体制図



取組の成果

○直売所の来客数	： 約11.6万人（H25）	→	約14.9万人（R6）
○直売所の販売額	： 約1億円（H25）	→	約2億円（R6）
○直売所の客単価	： 923円（H25）	→	1,390円（R6）
○協議会会員1人当たりの年間販売額：			
	約51万円（H28）	→	約88万円（R6）
○協議会の会員数	： 210名（H25）	→	245名（R6）

ウェブサイト▶なし

ユキノチカラプロジェクト協議会

地域資源：農林水産物、文化
事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
事業主体：協議会（町内事業者）

- 「豪雪」をデザインの力で「魅力」へ変えるという新たなコンセプトの下、西和賀町の地域ブランドを企画運営。
町内事業者、自治体、信用金庫、デザイナー等が連携し、6次化商品の開発やイベントなどを実施。

基本情報

- 所在地：岩手県西和賀町
- 選定表彰：
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」(R4) ビジネス・イノベーション部門
 - ・2021ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 地方創生担当大臣賞
- 主力商品・イベント：
 - ・農産物（米、ワラビ、牛乳、野菜等）加工品
 - ・雪体験ツアー
- 活用した支援施策：
 - ・県立西和賀高校魅力化プログラム

取組の概要

- 西和賀町、北上信金、デザイナー等と連携し、地域資源を活用した加工品などの商品開発を行い、ユキノチカラブランドで販売促進、シティプロモーションにも繋げる。
- 雪あかりやかんじきトレッキングなど、雪国文化を体験できる「ユキノチカラツアー」を実施し、首都圏等からの誘客。
- 地元高校と連携した社会学習プログラム「西和賀高校×ユキノチカラ『魅力発見ラボ』」を実施し、人材育成も含めた地域の課題解決と魅力発信に取り組む。



ユキノチカラツアー

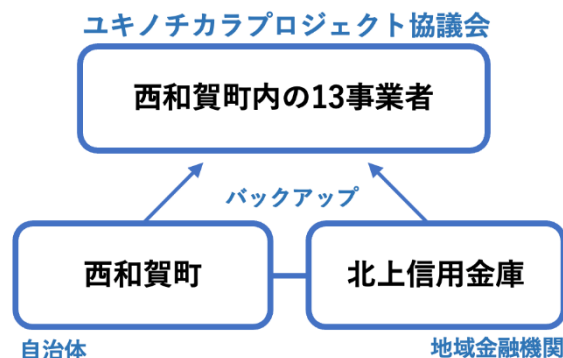


ユキノチカラブランド商品群



魅力発見ラボ

体制図



取組の成果

- 開発した商品数：13事業者30種類以上
- 西和賀町ふるさと納税の企画及びPRを担当し、認知向上に向けた地域ブランド（町内の産業・商品）のプロモーションを開始。（R5～）

ウェブサイト▶<https://yukino-chikara.com/>

○豊かな水産資源（フカ・ホヤ等）を活用し、食品から化粧品まで幅広い商品を開発し、「kesemo」としてブランド化。メディアで紹介されるほか小学校テキストへ掲載されることにより同市の水産加工業の認知度が向上。

基本情報

- 所在地：宮城県気仙沼市
- 選定表彰：
 - ・ 第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
 - ・ 令和元年度フード・アクション・ニッポン・アワード 入賞
- 主力商品：
 - ・ 水産加工製品ブランド「kesemo」(調味料、化粧品、化成品、ペットフード等)
- 活用した支援施策：
 - ・ 新しい東北事業助成金
 - ・ 地方創生加速化交付金
 - ・ 地方創生推進交付金

取組の概要

- 地元企業の知恵と想いを結集させ、気仙沼市の豊かな水産資源を活用した水産加工製品ブランド「kesemo」を立ち上げ。機能性食品や調味料、化粧品、化成品、ペットフードなど、市場に左右されない高付加価値でさまざまな領域の加工品を開発。
- フカコラーゲンを使った洗顔料や化粧品、ホヤを使った醤油やソース等の特徴的な新商品の開発、情報発信を実施。
- 開発した商品のメディアでの紹介や、全国の小学校で使用されるテキストに掲載されるなど、気仙沼の水産加工業をアピール。
- ホヤドレッシングを学校給食に提供するためにクラウドファンディングを実施。

気仙沼から、もっと。
kesemo+

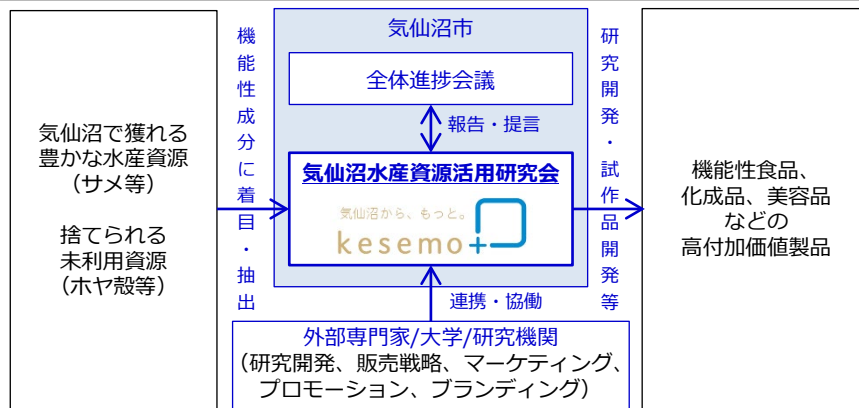


ブランドネーム「kesemo」の共通ロゴ

開発商品

イベント等での研究会のPR,商品販売

体制図



取組の成果

- 研究会に参加している企業：21社
- 特徴的な新商品の開発、情報発信
- 開発商品数：17品

ウェブサイト▶<https://kesemo.com/>

蔵王農泊振興協議会

地域資源：文化・歴史、観光地、農林水産物、空き家、荒廃農地
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、エネルギー、情報通信
事業主体：地域協議会

- 蔵王連峰や温泉などの観光資源に加え、陶芸体験や観光農園などの体験コンテンツを充実させ、空き家を活用した宿泊、地域食材を使った食とパッケージとして「農泊」を提供することで関係人口・交流人口の増加を図る。
さらに、宿泊施設にWi-Fi環境を整備し、テレワークやワーケーションを促進。

基本情報

- 所在地：宮城県蔵王町
- 選定表彰：
 - ・第8回「ディスカバー農山漁村の宝」(R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・日本版「アルベルゴ・ディフーズ」認証
 - ・農泊
 - 観光・体験コンテンツ
 - 宿泊（空き家の活用、Wi-Fi整備）
 - 食（農家レストラン、地域食材を使った弁当、ケータリング）
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）

取組の概要

- 陶芸体験等、地域の文化・歴史に触れることのできる新たな体験コンテンツの導入、地域の食材を使った新メニュー開発ワークショップの実施など、観光資源を充実。
- コロナ以降はワーケーション、マイクロツーリズム等の新たなターゲットに切り替え、コロナ前よりも観光客が増加。
- 廃温泉や木材等の再生可能エネルギーの活用や農福連携にも取り組む。
- 宿泊施設等においては障害者や高齢者等、社会的マイノリティを積極的に登用。



空き家を改修した宿泊施設



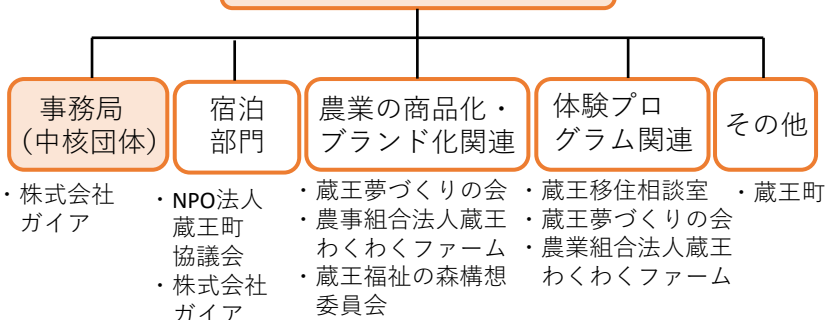
ワーケーションにも対応



体験コンテンツ（陶芸体験）

体制図

蔵王農泊振興協議会



取組の成果

- 農泊関連売上：500万円（H30）→3億2千万円（R3）→5億円（R4見込）
R4内訳 宿泊・食事等4億円、宿泊者物件購入金額1億円
- 宿泊者数：695人（H30）→3万8千人（R3）→4万2千人（R4見込）
- 新規雇用者数：18人（R3）20人（R4見込）
- 農泊振興協議会が関わる移住相談件数 150人（R4見込）
- 農泊振興協議会が関わる移住者数 18組（R4見込）

ウェブサイト▶<https://zao-nouhaku.jp/>